



と
ト
賑にぎやかだなあ
だんじりは
コトコトドン

約300年の歴史と伝統を誇る「岸和田
だんじり祭」は、1722年、時の岸和
神社、「おかべながやす公」が京都伏
見稻荷を城内三の丸に勧請し、米や
麦、豆、あわやひえなどの5つの穀物
が取れるように祈願し、行った稻荷祭
がその始まりと伝えられています。

当初の祭礼は、「にわか」や狂言など
の芸事を演じ、その後三の丸神社、
岸城神社へ参拝したようである。

岡部長泰（おかべながやす） は、岸和田岡部家第3代藩主でした。貞享3(1686)年～享保6(1721)年藩主就任直後には家中に「条々」を触れて倹約を奨励し、自らその模範を示し、また、藩士に論語を講義するなど学問を好みました。

五條市今井のだんじり祭りは、御
霊神社本官から征族所までの道の
りを夫平人の着物を着けた行列と
神輿や山車など総勢200人が練り歩
きます。



感想

だんじりは、米や麦、豆、あわやひえなどの5つの穀物が取れて、世界のみんなに届けるという願いでやっていることがわかりました。僕は何回かだんじり祭りはやったことがあるけど5つ穀物が取れるようにという願いでやったことがないからこれからは、だんじり祭りを行うときは5つの穀物が取れるようにやっていきたいです。

製作者T.Y